

1. 件名「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（158）」
2. 日時：平成29年5月29日 13時30分～18時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階A会議室、C会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

山口安全管理調査官、金子管理官補佐、津金管理官補佐、近田安全審査官、
皆川安全審査官、沼田安全審査官、義崎保安検査官、高嶋原子力規制専門員
（安全技術管理官（システム安全担当）付）

小野主任技術研究調査官、江口技術研究調査官、江畑技術参与、増原技術参
与、小西技術参与

（安全技術管理官（シビアアクシデント担当）付）

小城技術研究調査管

事業者：

日本原子力発電株式会社：福山執行役員 発電管理室室長 （他22名）

東北電力株式会社：女川原子力発電所 環境・燃料部 環境・化学グループ担当

中部電力株式会社：原子力本部 原子力部 安全技術グループ 主任

北陸電力株式会社：原子力本部 原子力部 原子力安全評価チーム 主任

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力運営） 担当

電源開発株式会社：炉心・安全室 安全技術タスク 担当

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、『東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価』を用いて、東海第二発電所の重大事故等対策の有効性評価（炉心損傷防止対策）のうち、全交流動力電源喪失（SBO）の対策について説明があった。原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【長期TB】

- 原子炉隔離時冷却系（RCIC）に関連する補機も含めて系統を整理した上で、運転に必要な直流電源の負荷を整理した資料を提示すること。
- 対応手順の概要について、操作内容が系統だけで示してあるものについては、使用設備が分かるよう整理した資料を提示すること。
- 常設代替高圧電源装置について、事象進展を踏まえて起動台数の判断基準を整理した資料を提示すること。
- 中央制御室及び現場での直流電源負荷切離しについて、切り離す負荷と当該負荷を切り離してもその後の対策に影響がないことを整理した資料を提

示すること。また、事象発生後8時間以内に切り離す負荷については、簡易な操作で切り離せることを整理した資料を提示すること。

- 「常設代替高圧電源装置による緊急用母線受電操作」、「常設代替高圧電源装置による非常用母線の受電準備操作」及び「非常用代替高圧電源装置による非常用母線受電操作」の作業内容について、技術的能力1.14電源手順との関係を整理した資料を提示すること。
- R C I Cの水源について、サプレッションプール水から復水貯蔵タンクへの切替えを行う場合の判断基準を整理した資料を提示すること。
- アクセスルートの復旧時間評価について、想定条件及び評価の保守性を整理した資料を提示すること。
- 蓄電池による給電時間評価について、起動電流の考慮の考え方を整理した資料を提示すること。
- S B O時におけるR C I Cの継続運転への影響評価について、R C I Cポンプ室や中央制御室の温度評価における評価方法や評価の保守性を整理した資料を提示すること。
- S B O時におけるR C I Cの継続運転への影響評価について、サプレッションプール水温度評価を踏まえた影響を整理した資料を提示すること。また、サプレッションプール水を水源とするR C I C以外のポンプについても影響を整理した資料を提示すること。
- 重大事故等対策に関連する操作条件における開始時間の設定について、考え方を整理した資料を提示すること。

【T B P】

- 解析上、原子炉圧力が1.04MPa[gage]まで低下した時点でR C I Cを停止することについて、実際の手順との関係を整理した資料を提示すること。また、R C I C再起動の判断基準を整理した資料を提示すること。

(2) 日本原子力発電から、本日の指摘について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価
- ・ 東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価 補足説明資料
- ・ 東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価 全交流動力電源喪失（長期T B） 比較表
- ・ 東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価 全交流動力電源喪失（T B D, T B U） 比較表

- ・ 東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価 全交流動力電源喪失（TB
P） 比較表
- ・ 東海第二発電所 重大事故等対処設備について
- ・ 東海第二発電所 重大事故等対処設備について（補足説明資料）
- ・ 東海第二発電所 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の
発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る
審査基準」への適合状況について
- ・ 全交流電源喪失（長期TB）における原子炉隔離時冷却系の継続運転への影
響評価